

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 住まいの復旧・復興のあゆみ

仮設住宅の建設タイプ

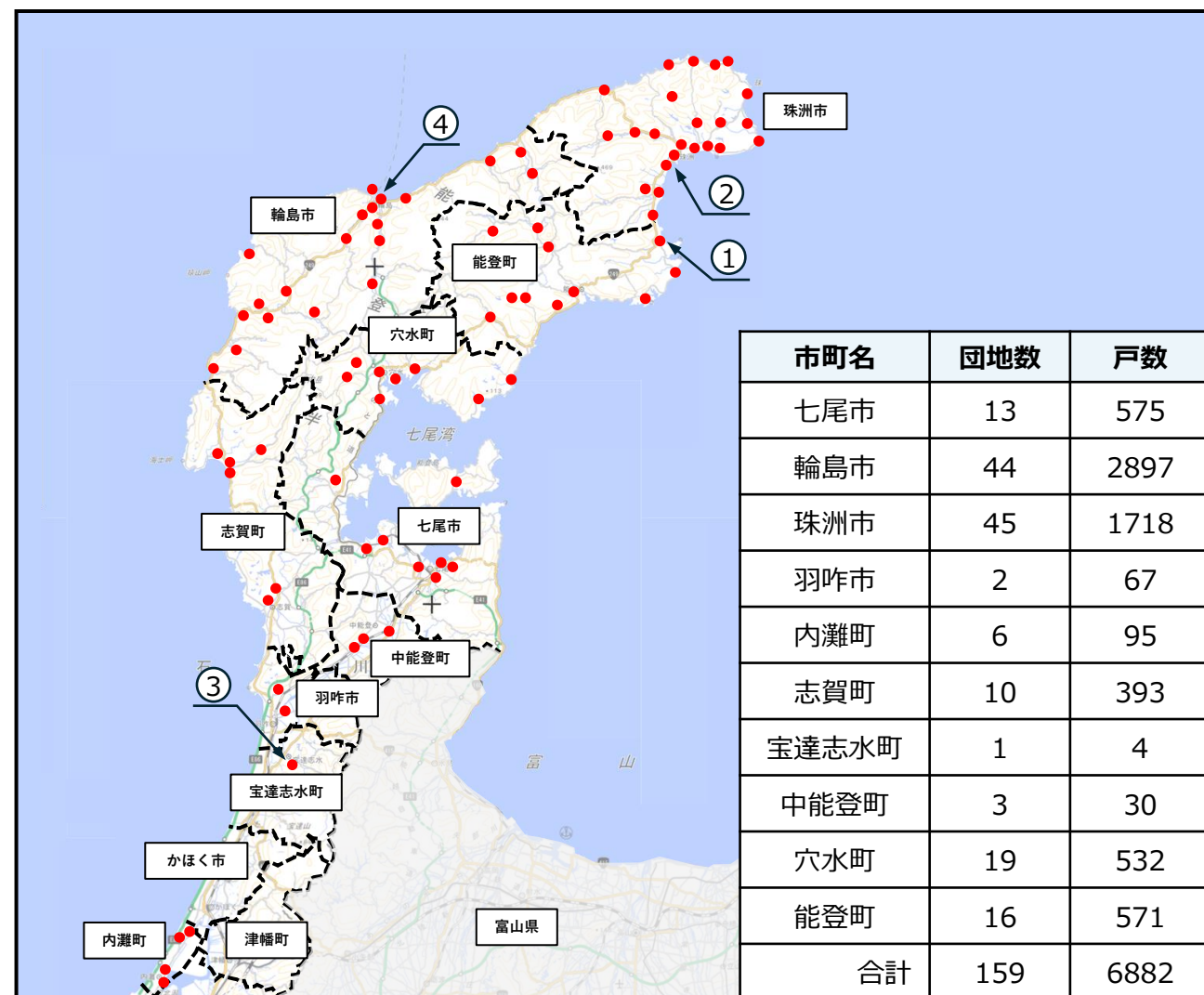
構造	プレハブ	木造	
概要	迅速かつ大量に供給し、避難生活を早期解消するもの	市町有住宅に位置づけることで、恒久的な住まいとすることが可能	
入居期間	原則2年間（状況により延長）	原則2年間（2年後市町有住宅へ転用等）	
場所	市町有地、学校グラウンドなど	従前のお住まいの近く	
外観		長屋（まちづくり型）	戸建風（ふるさと回帰型）
			
		農村ふれあい広場	三井町第一団地 唐川地区
建設戸数	5,279戸	1,570戸	33戸

令和6年能登半島地震では、9万棟を超える住家で被害が発生しました。このうち、住宅を失った被災者の方々の応急的な住まいとして、応急仮設住宅（建設型）、賃貸型応急仮設（みなし仮設）、公営住宅を提供しています。

応急仮設住宅については、10市町から計6882戸の建設要望があり、1月から順次建設を進め、12月23日に要望戸数全てが完成しました。

引き続き、市町と連携しながら、被災者の住まいの再建に向けて全力で取り組んでまいります。

応急仮設住宅（建設型）位置図



復旧・復興のトピックス

12月23日、地震に係る仮設住宅6882戸全てが完成しました。



①まつなみ第2団地
(能登町松波地内)



②上戸町第3団地
(珠洲市上戸町寺社地内)



③しお団地
(宝達志水町子浦地内)



④マリンタウン第1団地
(輪島市マリンタウン地内)

建設型応急仮設住宅の例（三井町第1団地）

三井町第1団地は、輪島市の三井地区交流広場に建設した、「まちづくり型」と呼ばれている木造長屋の仮設住宅です。外壁や床材などに県産木材・屋根には黒瓦屋根を採用し、周辺の景観に調和した住宅となっています。



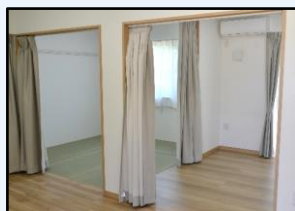
仮設住宅建設中の状況

三井町第1団地は令和6年2月17日に着工し、同年5月20日に完成しました。



仮設住宅の内観（車いす2DKタイプ）

木造住宅で2室以上ある場合、1室を和室



住戸内は段差なし

寒冷地仕様
(壁等に断熱材、窓に断熱サッシを採用)

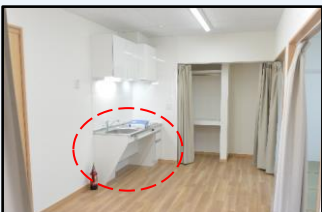


洗面所・浴室・便所



車いす使用者が利用出来る洗面所・浴室・便所を整備

台所



車いす対応キッチン

令和6年奥能登豪雨による被害への対応

9月21日に発生した令和6年奥能登豪雨により、6団地218戸で床上浸水が発生しました。

浸水被害にあった仮設住宅について、入居者の方々に少しでも早く、安心・安全な生活再建を行っていただけるように、下記の内容の復旧工事を進め、12月26日に全ての工事が完了しました。

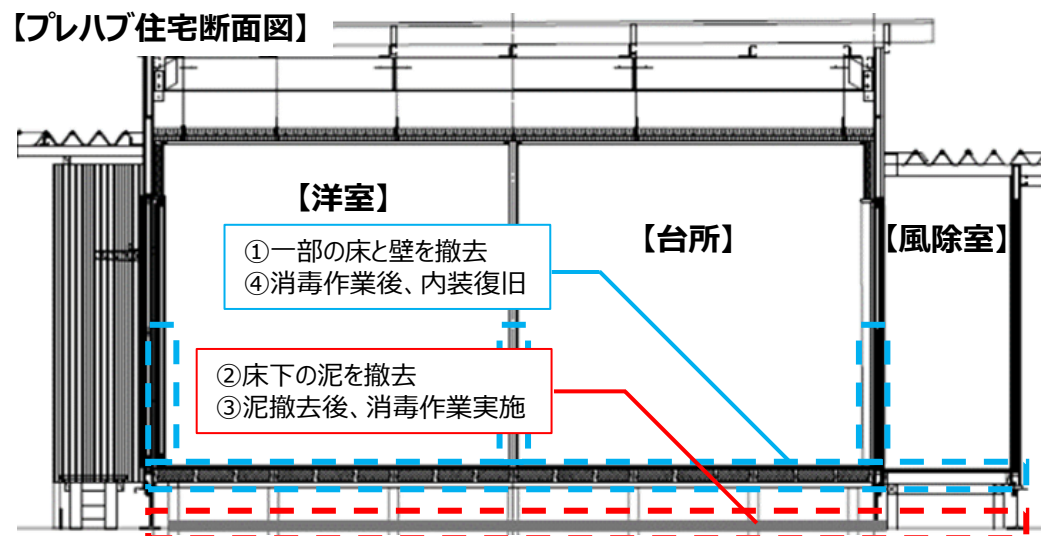
- ・住戸内部：浸水により機能を失った設備機器や床・壁材の取り替え、床下の泥撤去及び消毒洗浄を実施。
- ・住戸外部：外構部分に堆積した泥の撤去や物置・排水管等の洗浄を実施。

浸水被害の状況



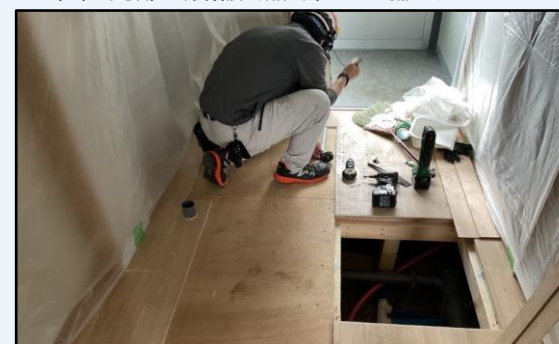
復旧工事の施工手順（浦上第1団地）

【プレハブ住宅断面図】



①住戸内部解体

住戸内部の設備機器・床・壁を撤去。



②床下の泥撤去

住戸床下に堆積した泥を撤去。



③床下の消毒

汚染による健康被害を防止するために消毒作業を実施。



④内装復旧

住戸内部の設備機器・床・壁を復旧。

